

道路の改良

禁 轉 載

第 二 號

第 十 九 卷

十二年一月二十三日第三種郵便物認可
十二年一月二十五日印刷納本
十二年二月一日(毎月一回)日發行



鋪裝報國

鋪

東京・丸之内

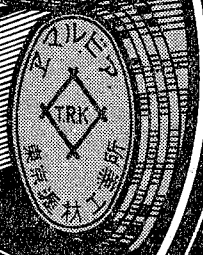
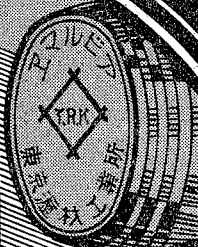
日本鋪道株式會社

社長 淺利三朗

東京大阪福岡札幌京城台北新京橫濱名古屋京都

製造販賣
業互事請為

新創 清漆 エマルジョン



東京漆業株式会社

本社 東京市京橋区銀座西三ノ一碌々館
電話 京橋 (56) 1325 番

大阪出張所 大阪市東区釣鐘町二ノ二九
大倉土木株式会社大阪出張所土木部内
電話 東 321-325 番

仙台出張所 仙台市東七番丁四五
電話 仙台 3226 番



道路の改良 第十九卷 第二號目次

昭和十二年二月一日發行

口繪 兩羽橋 (山形縣)

卷頭言

論說

道路體系に於ける社會性の認識

慶應大學教授 奥井復太郎 (三)

研究

公益企業評價論 (五)

内務事務官 武若時一郎 (一四)

技術

土木工學に於けるX線の應用 (五)

内務技師 島田八郎 (二六)

舗装用としてのタール及びアスファルトの
處理工場の設計に就て

内務省土木試験所 福島彌六 (一七)

說苑

臺灣の道路 (其の九)

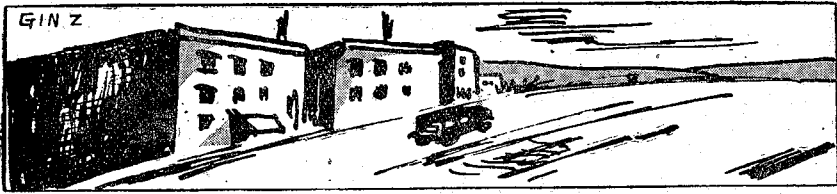
拓務技師 三浦磐雄 (一七)

A T式簡易舗装の研究並に施行工事中の
同工事視察に關する座談會 (一)

福岡縣折尾土木管區事務所 (一七)

アフガニスタン通信 (四)

池本泰兒 (一八)



吳廣國道の開通

廣島縣廳土木部 藤本 隅次(九)

一里塚址より見たる徳川時代水戸街道の
経路に就て

茨城縣廳土木課 田子作太郎(二三)

懸賞募集

入賞作品

(一〇)

地方通信

東北・關東・北陸・東海・近畿・中國・四國・九州・朝鮮の各地方

(一四)

法令

通牒、遞信省所管電信、電話線路(電氣通信線路)ノ移轉費用ノ
負擔竝道路ノ占用ニ關スル協定ノ件依命通牒
最近内務省に於ける路政關係行政處分例

M M 生(一五)

路政春秋

二千六百年記念事業を意義あらしめよ 其他

(一六)

雜報

◎第二調査部主査會◎幹事會開催◎廣島支部の設置◎近刊の圖書雜誌
叙任辭令
編輯室の内外

(一七)
(一八)
(一九)

優 良 國 産



製 品 ノ 選 擇 ハ 先 ツ 原 料 ノ
選 擇 カ ラ 瀝 青 乳 剤 ノ
良 否 ハ 原 料 ア ス フ ァ ル ト
ノ 選 定 カ ラ

瀝青乳剤
日本石油アスファルト
株式會社

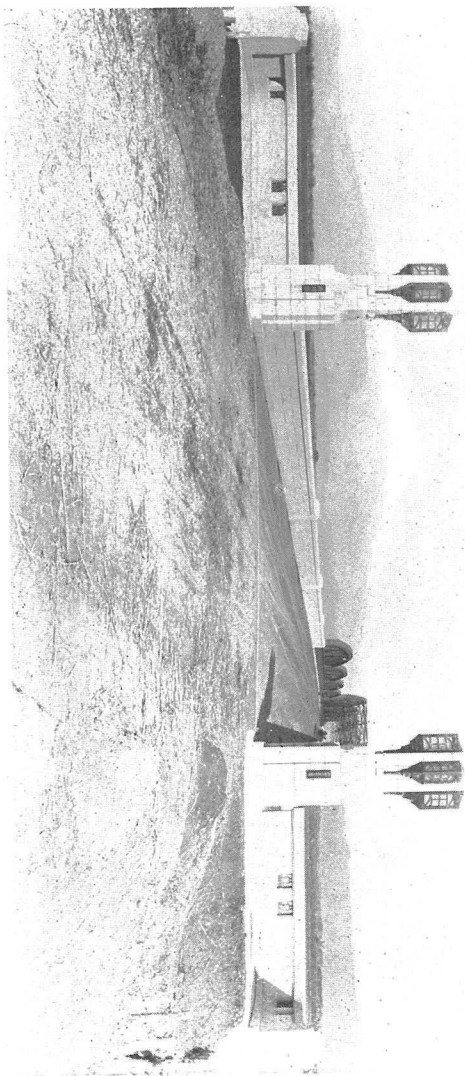
東京丸の内海上ビル
電話丸の内2581-2589

瀝青部 株式會社 物産 石油 日本

瀝 青 部 石 油 物 産 株 式 會 社

東京丸の内海上ビル(電話丸の内2581-2589)

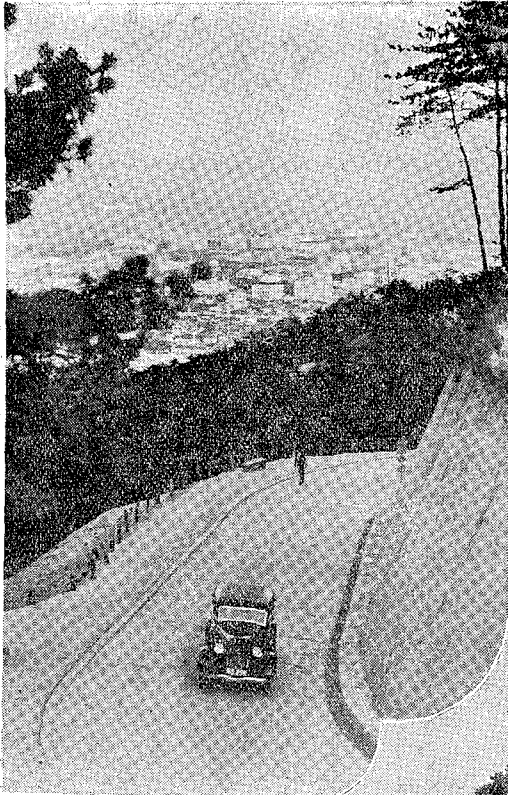
兩 羽 橋 (山形縣)



超高級

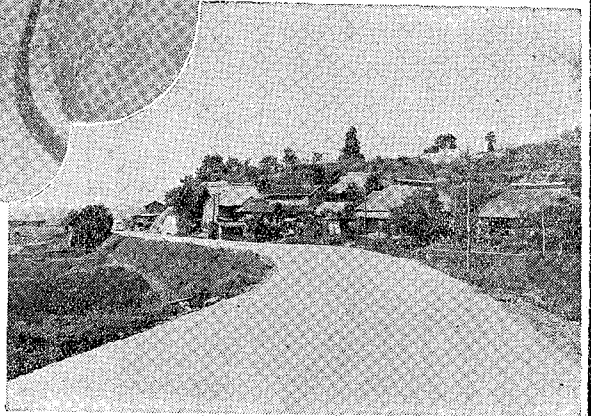
アサノ

ベロセメント



強度高く
硬り早く
使テ経済

温泉道路
山形縣五號國道
山形市一上山町間
舗装工事
ベロ742吨使用 ↓

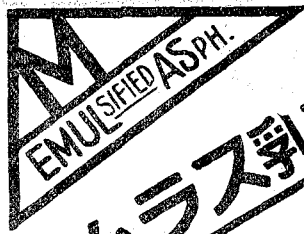


↑
觀光道路
神戸諏訪山登山道
ベロ910吨使用

—— 説明書御申越次第送呈 ——

淺野セメント株式會社

東京市、丸ノ内、海上ビル新館



エムラス乳剤販賣

道路舗装並一般土木互事

新乳剤、エムラスト、發賣

滿洲地方の極寒地にて實地施工の結果從來の瀝青又は瀝青乳劑の
一大缺點たる耐寒性を完全に補充し溫度に對する抵抗性を増大せ
る寒國向の理想的新乳劑なり。

エムラス道路舗装株式會社

本社 東京市向島區吾嬭町西四ノ二四
電話・墨田(七四)二六三七

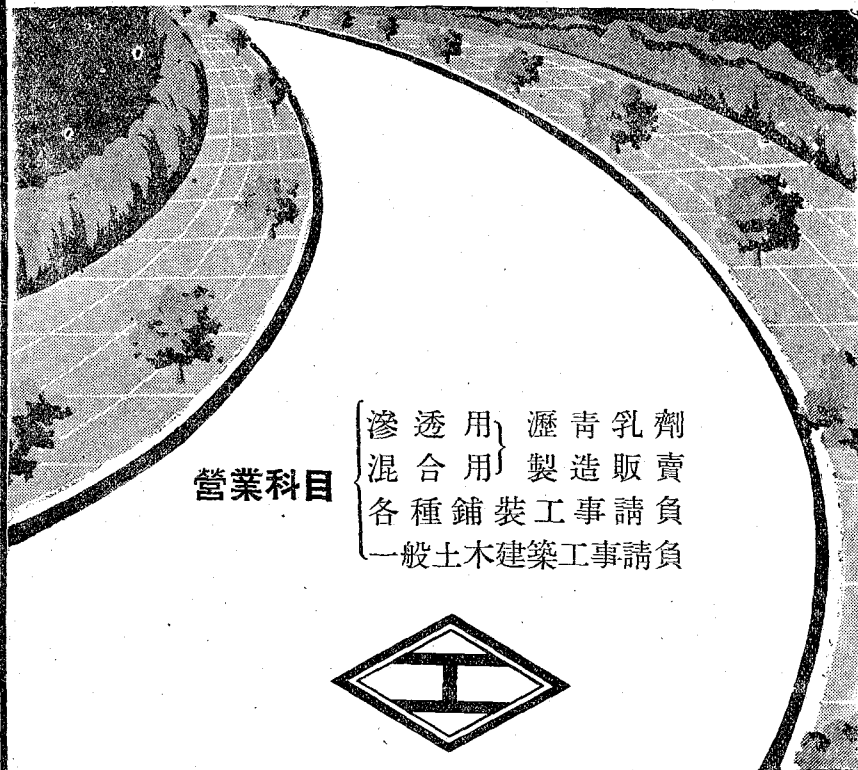
工場 東京市(滿洲國)新京市、ハルビン市・
(朝鮮)群山、春川(北海道)札幌市(九州)

佐賀市、大分市(東北)弘前市(關西)大阪市・
新京市・ハルビン市・群山府・札幌市・佐賀市

出張所 大阪市

道 路 鋪 裝

(カ タ ロ グ 贈 呈)



營業科目

滲透用 瀝青乳劑
 混合用 製造販賣
 各種鋪裝工事請負
 一般土木建築工事請負



東邦工業合資會社

本 社 東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三
 電話 青山(36)四九七三・八一四八

工 場 { 神奈川縣川崎市幸町三ノ六一二
 { 福岡縣小倉市富野町下道田一四一三ノ二

營業所 { 名古屋市・京都市・大阪市
 { 岡山市・廣島市・小倉市・熊本市

道路研究資料

第二輯 定價金六十錢

道路の設計工法並に計畫に就て

本篇は内務技師工學博士藤井眞透氏著作にして左の事項に就き記述せらる。

第一章 總説・第二章 滿洲國の道路の現状・第三章 殖民地及未開地方の道路の計畫及工法。

第四章 産業經濟の見地より見たる道路の總延長・第五章 道路系統の決定方法・第六章 路線の形狀に就て・第七章 路面の構造及工法に就て・第八章 交通車輛の構造と路面の性質・第九章

道路改良の財源に就て・第十章 道路と鐵道、空路との關係に就て 以上

發行所 道路改良會



アスフアルト

アスフアルト
アスフアルト
アスフアルト
アスフアルト

小倉石油株式会社
専属販売店

南部商會

本店	東京丸の内三越六番館 電話丸の内1654・5014
出張所	大阪西区土佐堀大同生命ビル 電話土佐堀3118・4343
出張所	名古屋市中区矢野町五の切煎場ビル 電話 中国 2765南

事互装鋪路道トルアブスア

事互装鋪トルアフターオウ割乳青瀝

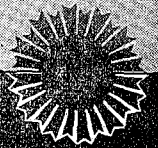
賣販理代トルアフターオウ・トルアブスア倉小

賣販造製グソイフールヒサア

社會式株木工市都

地番二日丁一橋京區橋京市京東

番八六二二(56)橋京 話電

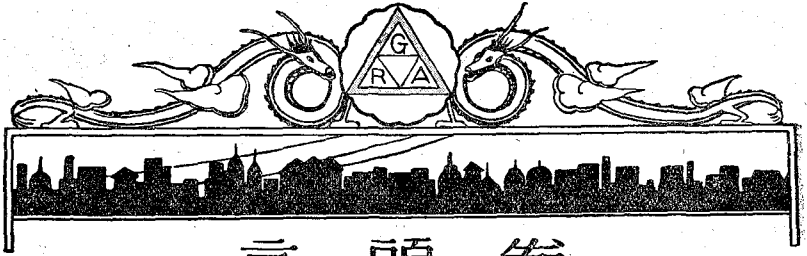


昭和十二年

道路の改良

二月一日

第九十卷
第二號



言 頭 卷

皇紀將に二千五百九十七年、明治七年創定せられたる紀元節を迎ふるに際し吾曹は此日を祝することに依りて皇祖建國の鴻業、創造の偉績、維新革新の精神を追憶冥想してそぞろに敬虔の念を禁ずる能はざるものである。

天真湯澤眞太郎氏の謹作に「上在聖明博愛氏、情如父子義君臣、皇宗建國梅花節、香潔神州無限春」と時恰かも梅の佳節である、梅花節と稱すことまた是にふさわしき感がある。惟ふに紛亂混雜を統一し秩序を立て、組織し内民を安じ外敵を斥く之れ即ち建國創造の事業である。堅忍不拔純潔、質實、仁慈、威武を具有することなければ克く建國創造の大業を成就する能はざるは一言を費さずして明かなる所である。

彼の梅花に接し其の花色清麗、香氣馥郁而かもよく凜冽なる霜雪に忍び敢て風雨の百鍊に耐へ雪裡春を占めて天下に魁するを思はしめらるる、歌舞喧騰夕陽に酔ふて散り易きを惜しむの情致なきも人をして懽欣鼓舞し外に暢發せしむると同時に整肅收斂内に固守せしむるの力がある、源義公詠して曰く「不待豔陽桃李時、庭前梅蕾獨分枝と實に梅は諸花に魁けて新春の展開を報ず、吾曹は梅花を以て我民族のシンボルたらしめんことを庶幾ふものである。

東波の詩に「春來幽谷水屢屢、的磔梅花草棘間、一夜東風吹石裂、半隨飛雪渡關山」と豪宕の意を述べて餘地なきの一句がある。不統一な各地割據の先住民族を綏御し給ひし皇祖の和魂的動作と豪宕的精神とは克く帝國の基礎を立てられ給ふたのであるが支那大陸文化の移入し其の隆昌を極むるに至つて諸弊漸く百出し遂に大化の革新となり、復古的精神に基いて庶政は一新された。孝徳天皇御即位の始めに「天ハ獲ヒ地ハ載ス、常道唯一ナリ、而ルニ末代薄薄ニシテ君臣ハ序ラ失ヒ、昊天ハ手ヲ我ニ假シ暴虐ヲ誅シ殄セリ、今共ニ心血ヲ瀝ク自今以後ハ君ニ二政ナク、臣ハ朝ニ背クコトナケン、若シ此ノ盟ニ貳カハ天災シ地妖シ人伐タン岐タルコト日月ノ如シ」と詔りあらせ給ふた、爾來佛敎の隆盛、儒敎ノ普及等ハ旺熾となつたが政權武門に歸し幾轉遷徳川時代に至つて復古的日本精神は歐米の物質的文化の刺激を受けて鮮なならざる犠牲を拂ふて明治維新の變革を醸成した、明治天皇御位あらせられ給ふや御震翰を煥發せられ「……今般朝政一新ノ時ニ膺リ天下億兆一人モ其所ヲ得サルハ皆 朕カ罪ナラズ今日ノ事 朕自身骨ヲ勞シ心志ヲ苦メ艱難ノ先ニ立……汝億兆能々朕カ志ヲ體認シ相卒テ私見ヲ去リ公議ヲ採リ朕カ業ヲ助テ神州ヲ保全シ列聖ノ神靈ヲ慰メ奉ラシメハ生前ノ幸甚ナラン」と宣り給ふた、明治維新鴻業の成就は長くも此聖旨の外に出でざる所である。今や物質的文化の行詰は更らに昭和維新の機運に想到せしむるものなきを得ないのである。

茲に紀元節を迎ふるに當り梅花に許すに花玉の號を以てしたる西山公の精神を偲ぶことの切なるを覺ゆる次第である。(洮民)